SANEI

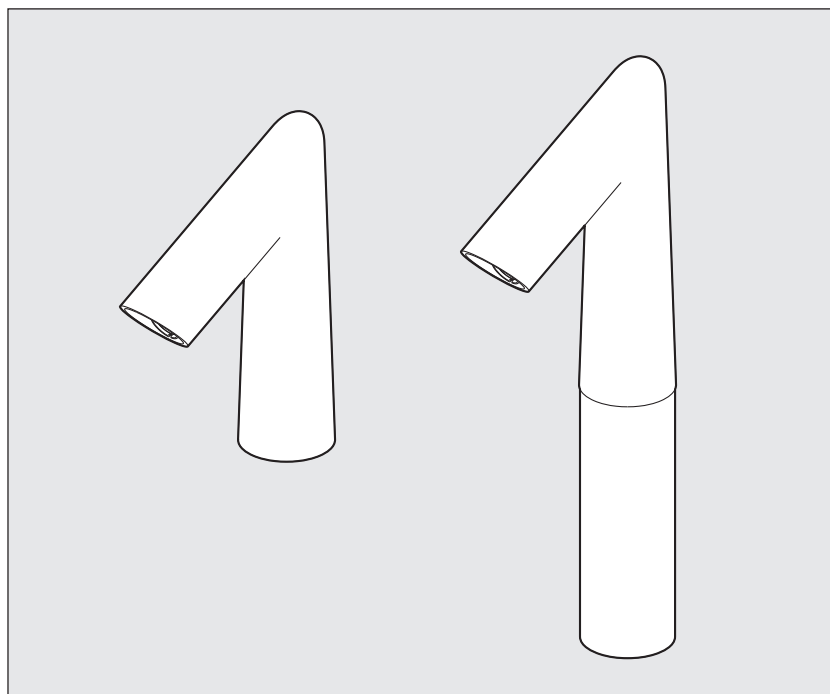
T-EY506HE-A4 ABL

保証書付

自動水栓(発電仕様)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ EY506HE・EY506HE-2T

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。

お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。
なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について　各部の名称

●全自動システム
赤外線センサーとマイコン制御により、吐水口の下に差し出された手を感知して自動吐水、手を遠ざけると自動止水します。

●発電仕様
水流を利用した超小型高効率水力発電機により、全自動システムの稼動に必要な電力をまかないます。
発電した電力は、発電ユニットに蓄電されます。
5秒間の吐水【流量：4L/分】を1日10回以上の頻度で使用して頂ければ、電池交換作業の頻度が少なく、長く使用して頂けます。

●バックアップ電池
全自動システムの稼動に必要な電力が足りない場合、一時的に電力を補う役割をします。
（出荷時、発電ユニットには蓄電されていませんので、初期作動の際はバックアップ電池の電力を使用します。）
バックアップ電池は、市販のリチウム電池(単3形)4本を使用しており、大型電気店などでお求め頂けます。
(電池の交換方法については、P14～15を参照ください。）
緊急の場合は、市販のアルカリ乾電池(単3形)やマンガン乾電池(単3形)でも作動しますが、電池寿命が短いため、お早めにリチウム電池(単3形)にお取替えください。

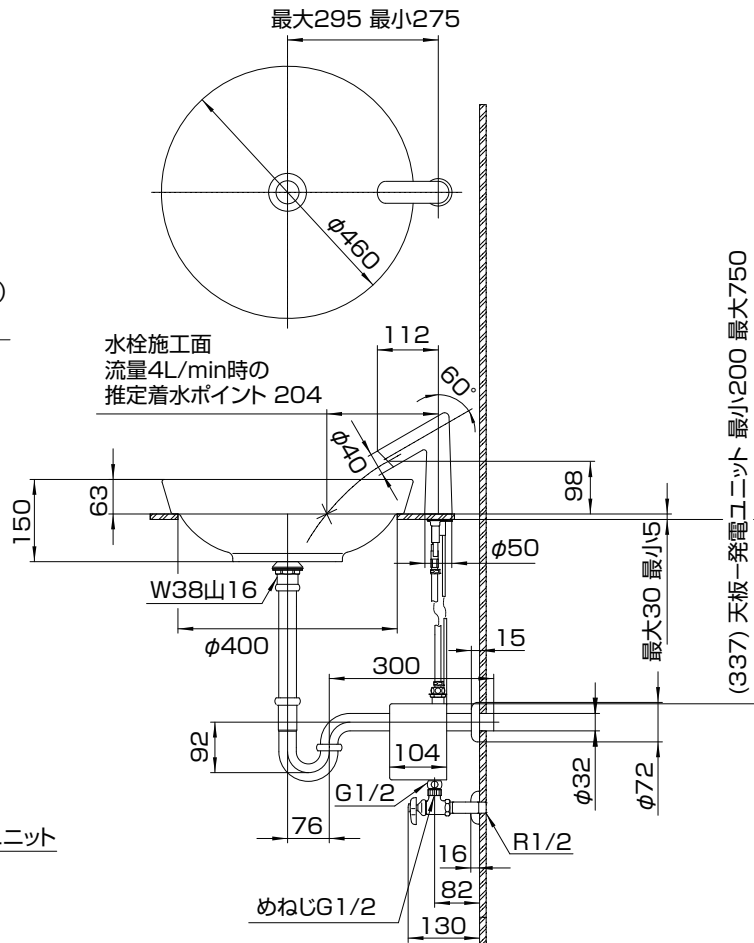
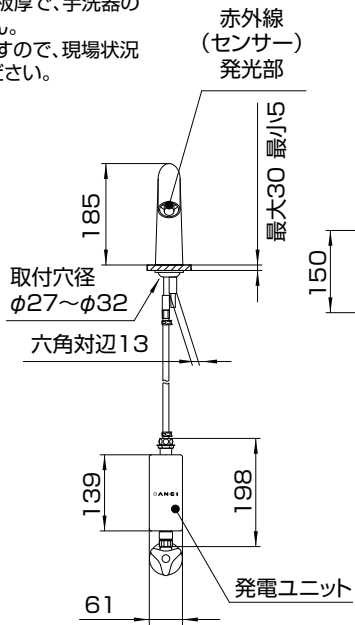
●水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

本製品について　寸法図

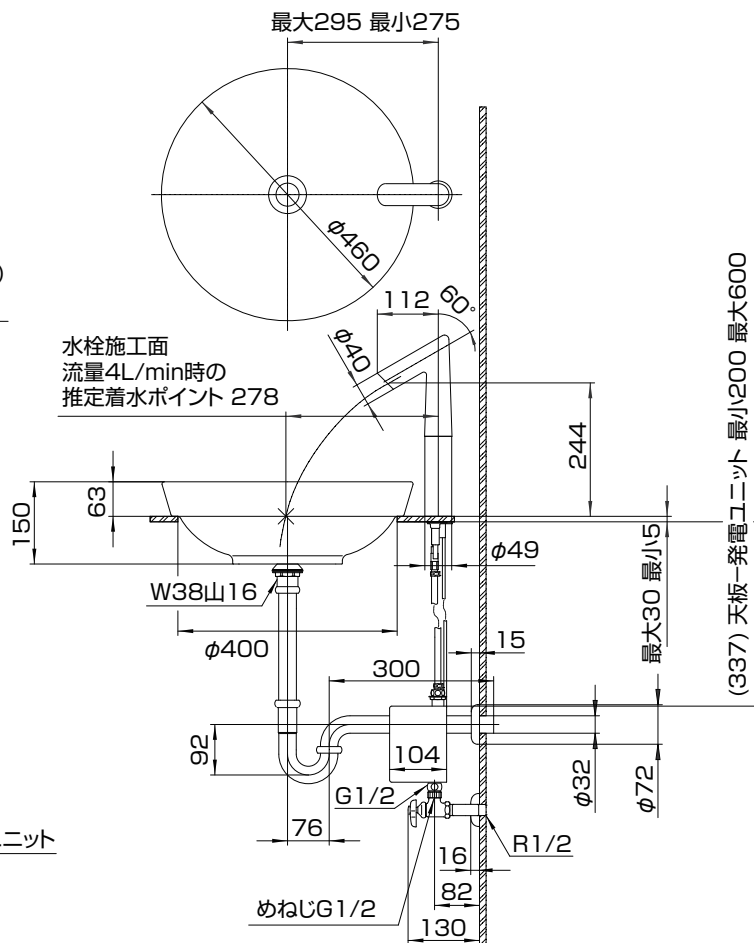
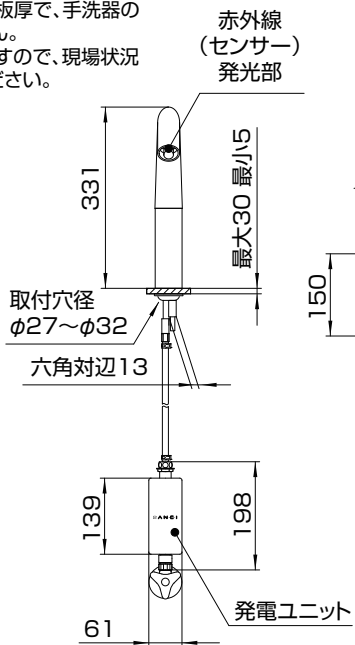
●仕様により、寸法が異なる場合があります。

■ EY506HE (施工例)

品名	品番
自動水栓	EY506HE-13
手洗器	HW1020
アフレナシPトラップ	H750-32
止水栓本体	V22A-X2-13

※ 表示板厚は水栓の取付板厚で、手洗器の取付板厚ではありません。
表示寸法は推奨寸法ですので、現場状況に合わせて施工してください。

■ EY506HE-2T (施工例)

品名	品番
自動水栓	EY506HE-2T-13
手洗器	HW1020
アフレナシPトラップ	H750-32
止水栓本体	V22A-X2-13

※ 表示板厚は水栓の取付板厚で、手洗器の取付板厚ではありません。
表示寸法は推奨寸法ですので、現場状況に合わせて施工してください。

施工について　施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

警告 ············ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ············ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

············ 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

············ 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

············ 「分解してはいけません！」

············ 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

············ 「水や液体をかけたり、漬けてはいけません！」

············ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

コードを乱暴に扱わないでください。
故障や感電の原因になります。

製品に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
故障や感電の原因になります。

⚠注意

屋外や凍結が予想される地域には、取付けないでください。
凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。
凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。

通水温度は40℃以下で使用してください。
40℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意

ストレーナの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P17

インバータや赤外線を用いた他の機器により、誤作動することがあります。センサーどうしが感知し合わないよう、それぞれ離して施工してください。
誤作動の原因になります。

直射日光の当たる場所には設置しないでください。
誤作動の原因になります。

ステンレス製や鏡面の洗面器には取付けないでください。
誤作動の原因になります。

センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。

同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。

施工について　使用条件

〔水圧について〕

給水圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

〔流量について〕

適正流量	3~4L/分

〔使用温度について〕

使用最高温度	40℃以下

●給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
●給湯に蒸気を使用しないでください。

〔水質・用途について〕

使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水

施工について　施工前のご注意

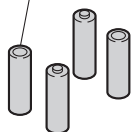
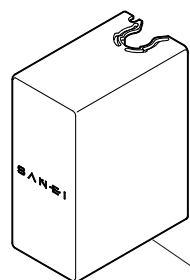
●給水は、上水道に接続してください。
●取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
●止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
●開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
●取付けの際は、正しい向きを確認してください。
●発電ユニット上部に100mm以上のスペースを確保してください。
●洗面器（手洗器）と発電ユニットが干渉しないように施工してください。
●取付可能な洗面器（手洗器）以外は取付けないでください。
●発電ユニットはガタツキのないように施工してください。
※ 場合によってはブラケットが必要です。別途お求めください。参照：P20
SAN-EI品番：R641（分岐止水栓ブラケット）
R641T-S（止水栓ブラケット）
R641T-L（止水栓ブラケット）

● 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**

施工について　梱包明細

●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1
●「使用方法」ラベル ×1

開閉工具 ×1
吐水口をはずす工具です。なくさないように保管してください。

バックアップ電池
【リチウム電池(単3形)】×4
発電ユニット
電池ホルダー
カバー
ストレーナ
発電ユニット ×1

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

水栓本体
座パッキン
(本体に貼付済)
取付パッキン
取付金具
取付
ナット
ホースクランプ

■ 本体ロング
タイプの場合
水栓
本体

本体 ×1

定流量弁
本体
定流量弁
パッキン
定流量ソケット ×1

施工について　施工手順

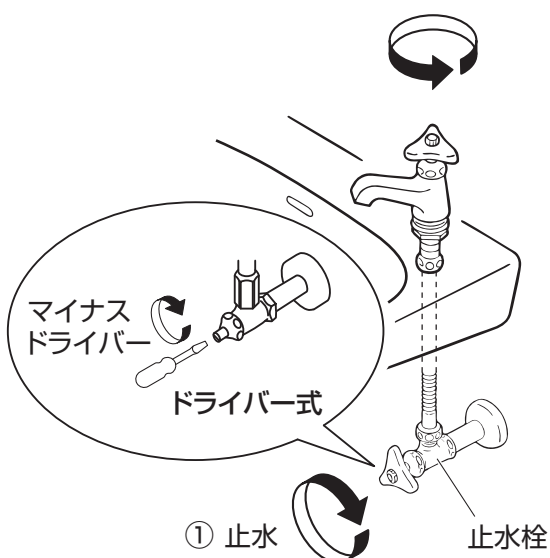
施工の流れ

- ❶ 古い水栓の取りはずし（P6）
- ❷ 配管内の掃除（P7）
- ❸ 水栓本体の取付け（P7）
- ❹ 発電ユニットの取付け（P8）
- ❺ 給水ホースの接続（P8）
- ❻ コネクターの接続（P9）
- ❼ センサーの作動確認（P9）
- ❽ 水漏れチェック（P10）
- ❾ 流量の確認（P10）
- ❿ 定流量ソケットの取りはずし・流量の調節（P10）

※
状況に応じて、ホース・コードを
結束バンドなどで束ねてください。

❶ 古い水栓の取りはずし

※ 新設の場合は ❷（P7）に進んでください。

(1) カウンター下の止水栓を右にまわして止水します。
止水した後、水栓のハンドルを開いて止水の確認をします。

※止水栓がない場合は、元栓を閉めてください。
参照：P19

(2) ナットを順番にゆるめて、古い水栓をはずします。

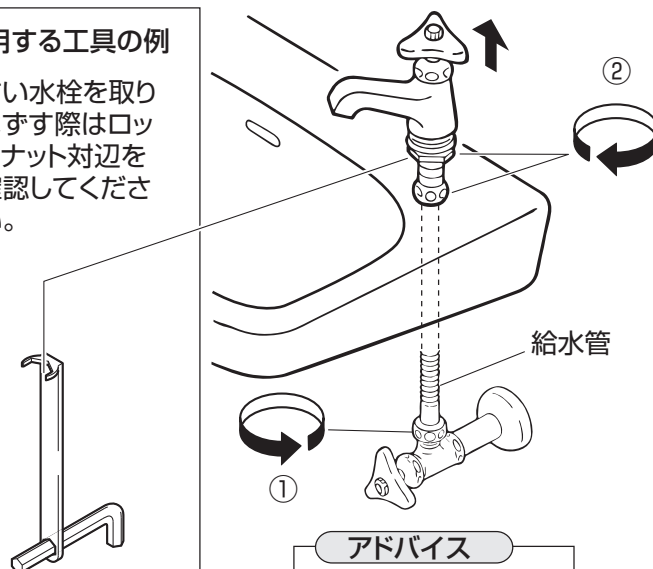
⚠ 注意

- ねじで手を切る場合があります。
ご注意ください。
- 残り水または湯にご注意ください。

使用する工具の例

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。

アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

❷ 配管内の掃除

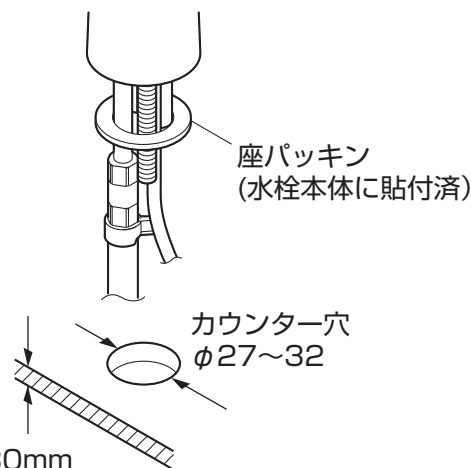
注　意

配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、
必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。
（止水栓の開閉は ❶ (1) を参照してください。）
水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、
この場合には有償修理となります。
※ 配管内の掃除をした後は、必ず止水栓を閉めてください。

❸ 水栓本体の取付け

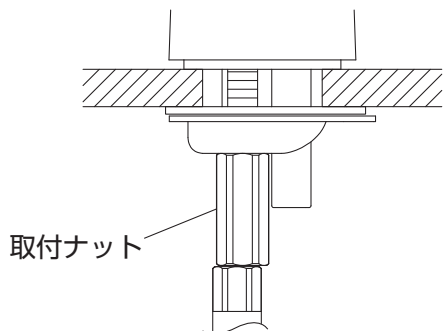
（1）カウンター穴の寸法を確認し、水栓本体を入れてください。

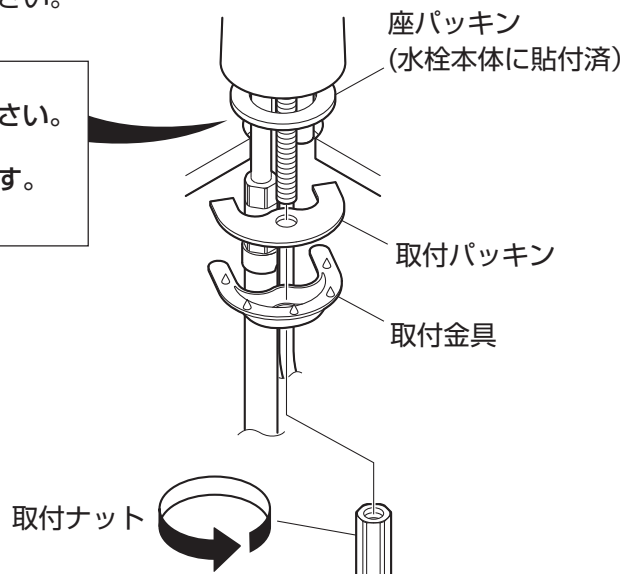
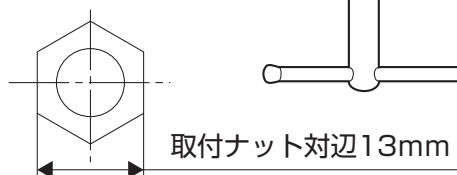
⚠ 注意

- ●センサー感知窓や発電ユニットとコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- ●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。
- ●本製品のセンサーが正確に洗面器などを感知できるよう、極端に斜めに向けて取付けないでください。
- ●カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。

（2）水栓本体が正面を向くように締付工具で固定してください。

⚠ 注意

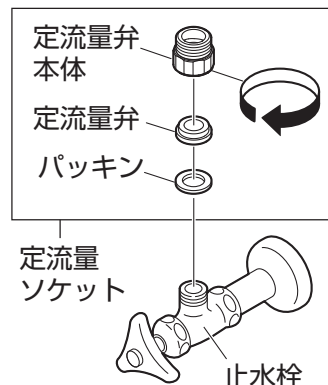
- ●水栓本体をカウンターに押しつけて固定してください。
- ●カウンター穴中央に施工してください。
  座パッキンが穴からずれると漏水の原因になります。
- ●水栓本体に浮きがないよう注意してください。

水栓本体がカウンター穴の中心にくるように確実に本固定してください。

⚠ 注意

- ●給水ホースの折れに注意してください。
  破損・漏水の原因になります。
- ●水栓本体とコード類のかみ込みに注意してください。

4 発電ユニットの取付け

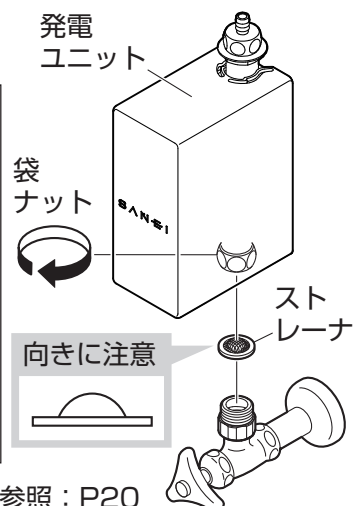
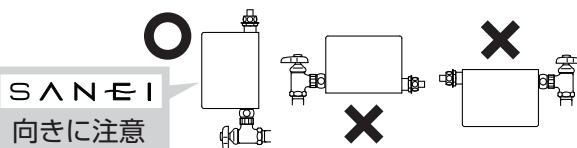
（1）定流量ソケットのキャップを取りはずし、止水栓に取付けてください。

⚠ 注意

- **緩みがないように確実に締めてください。**
  定流量ソケットが確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。
- **パッキンが入っていることを確認してください。**
  パッキンが入っていないと水漏れの原因になります。
- **パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。**
  水漏れの原因になります。
- **定流量弁本体から定流量弁が落ちないように注意してください。**
  定流量弁がはずれた場合は、向きに注意して入れてください。

（2）発電ユニットのキャップを取りはずし、定流量ソケットに取付けてください。

⚠ 注意

- **ストレーナが入っていることを確認してください。**
  ストレーナが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- **ストレーナの向きに注意してください。**
- **緩みがないように確実に締めてください。**
  発電ユニットが確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

- **発電ユニットは、図のような向きにしてください。**
  止水不良や水の浸入による故障の原因になります。

※ 発電ユニットがガタつく場合は、ブラケットを取付けてください。 参照：P20

5 給水ホースの接続

（1）給水ホースをカッターなどで適切な長さ（発電ユニットのホースニップルに無理なく届く長さ）に切断してください。

給水ホース

ホースニップルに無理なく届く長さに切断

・水平に
・端面をきれいに

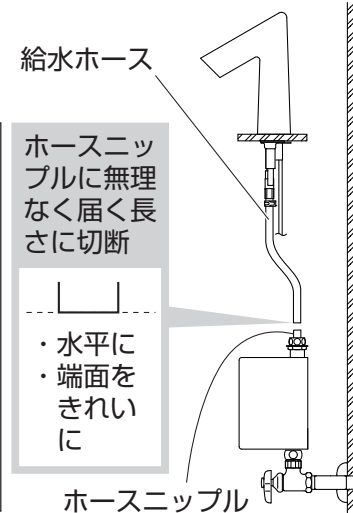
ホースニップル

⚠ 注意

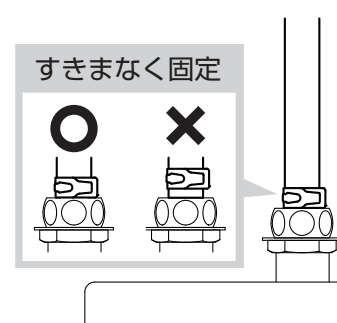
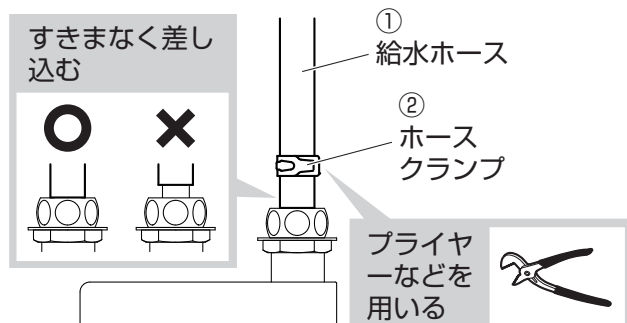
- **給水ホースの切断面は、必ず水平になるようにしてください。**
- **給水ホースは必ず適切な長さに切断してください。**
  給水ホースが長すぎたり短すぎたりすると、ホースの折れの原因となります。

【ホース施工上の注意点】

※下記注意事項は必ず守ってください。
ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

- **銅管は曲げないでください。**
- **ホースを極端に屈曲しないでください。**
- **ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。**

（2）給水ホースを発電ユニットのホースニップルに差し込み、ホースクランプで固定してください。

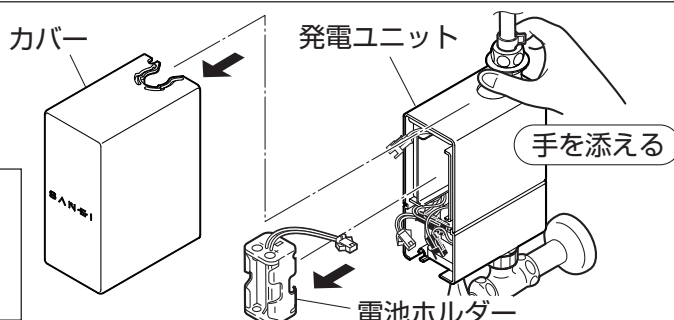
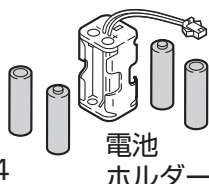
⚠ 注意

- **給水ホースが確実に接続されていることを確認してください。**
- **固定の際は必ずホースクランプを用いてください。**

❻ コネクターの接続

（1）発電ユニットのカバーをはずし、電池ホルダーを引き出してください。

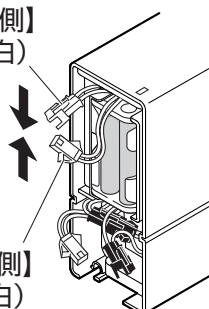
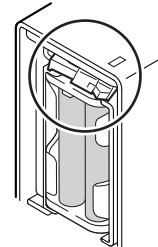
カバー
発電ユニット
手を添える
電池ホルダー

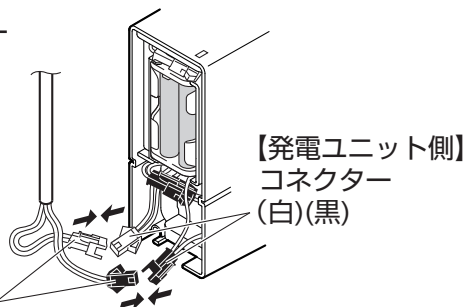
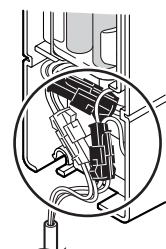
⚠ 注意

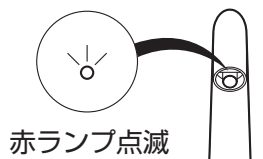
- **カバーをはずす際は、配管に手を添えてください。**
- **電池ホルダーを引き出す際、誤って発電ユニット内部の仕切りを引き出さないでください。**

（2）電池ホルダーにバックアップ電池を入れ、電池ホルダーを戻してください。

⚠ 注意

- **電池は必ず入れてください。**
  電池を入れないと、初期作動しません。
- **電池の方向に注意してください。**

（3）電池ホルダーのコネクター(白)を、発電ユニット上部のコネクター(白)に「カチッ」と音がするまで差し込み、収納してください。

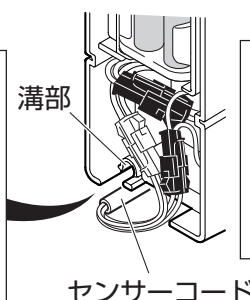
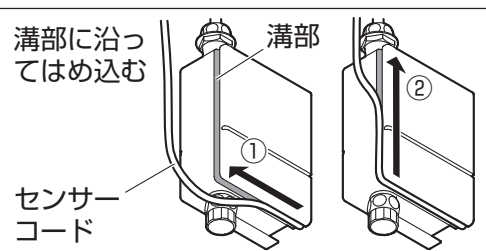
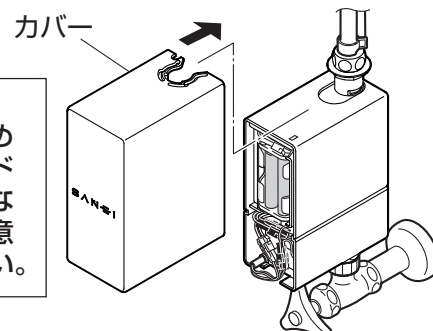
⚠ 注意

コネクターは必ず図の位置に収納してください。

（4）発電ユニット下部のコネクター(白)(黒)を、センサーコードのコネクター(白)(黒)にそれぞれ「カチッ」と音がするまで差し込み、収納してください。

⚠ 注意

コネクターは必ず図の位置に収納してください。

❼ センサーの作動確認

（1）コネクター接続後、赤ランプが3回点滅した後、消灯します。

⚠ 注意

- **赤ランプ点滅中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。**
  誤作動の原因になります。
- **正常に動作しない場合は、コネクターが確実に接続されているか確認してください。**

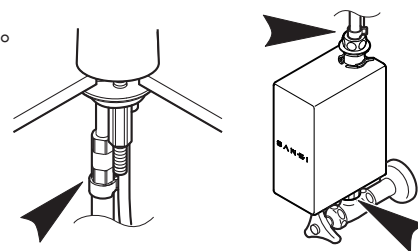
（2）センサーコードを発電ユニットの溝部に沿ってはめ込み、カバーを閉めてください。

⚠ 注意

カバーを閉める際、コードがかみ込まないように注意してください。

⑧ 水漏れチェック

接続後、**止水栓を全開にして** 各部に水漏れがないか必ず確認してください。

水漏れがある場合は、 からやり直してください。

アドバイス

センサー付近に反射しやすい物（白い紙など）を感知させせると、最大1分間水を出し続けることができます。

⑨ 流量の確認

下記の手順で流量の確認を行ってください。

（1）センサー前に手をかざし、水を出してください。

（2）500mlのペットボトルに水を溜めて、10秒以内に満水になることを確認してください。

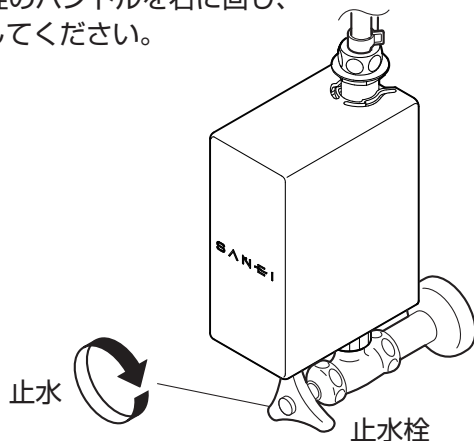
（3）10秒以上かかる場合は、ストレーナや吐水口のゴミづまりが考えられます。ストレーナ・吐水口の掃除を行ってください。 参照：P17

※
ストレーナ・吐水口の掃除をしても直らない場合は、定流量ソケットをはずし、止水栓で流量を調節してください。

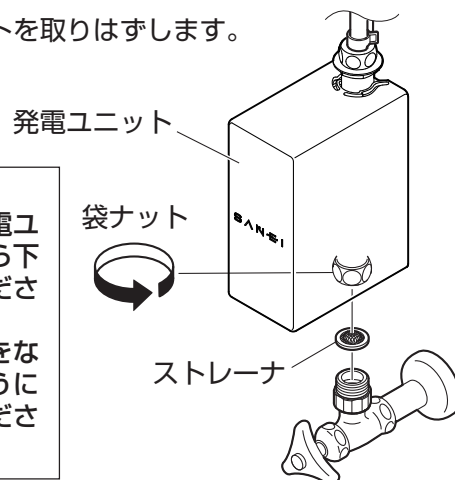
参照：

⑩ 定流量ソケットの取りはずし・流量の調節

定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、定流量ソケットをはずして止水栓で流量を調節してください。

（1）止水栓のハンドルを右に回し、止水してください。

（2）発電ユニットを取りはずします。

注意

●作業中、発電ユニットをぶら下げないでください。
●ストレーナをなくさないように注意してください。

（3）定流量ソケットを取りはずします。

注意

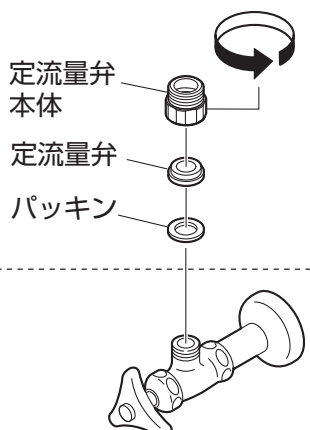
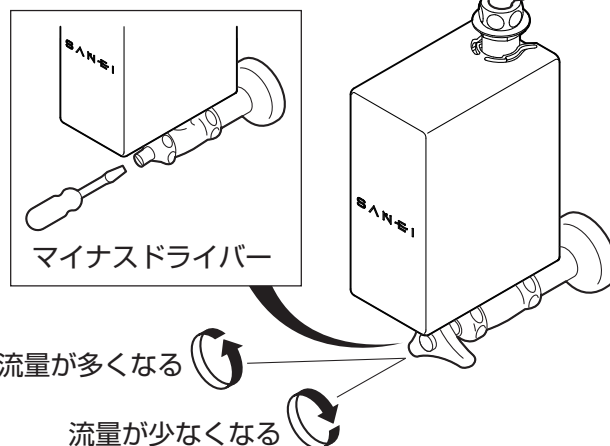
作業中、発電ユニットをぶら下げないでください。

（4）部品を逆の手順で取付けます。参照：④

（5）止水栓で流量を調節します。

マイナスドライバー

流量が多くなる

流量が少なくなる

（6）流量の確認をします。参照：⑨

ご使用について　ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
　いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ············ 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

注意 ············ 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

⚠ ············ 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

⊘ ············ 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

············ 「分解してはいけません！」

············ 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

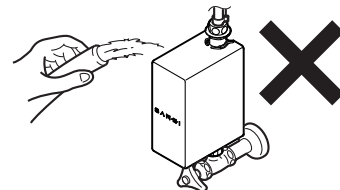
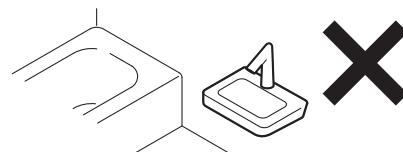
············ 「水や液体をかけたり、漬けてはいけません！」

❗ ············ 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

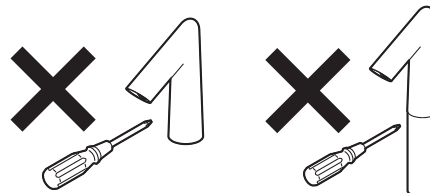
⚠警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。
やけど・けがをするおそれがあります。

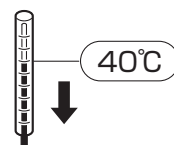
製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や漏水の原因になります。

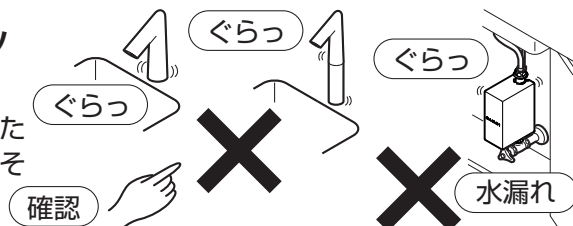
発電ユニットに水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。

⚠注意

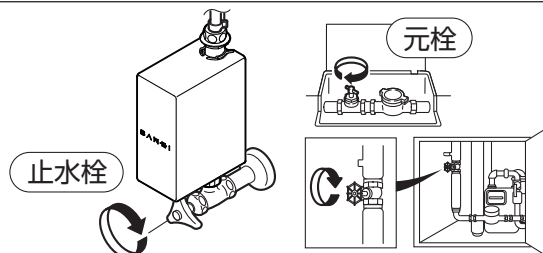
使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。
しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠注意

通水温度は最高40℃まででお使いください。

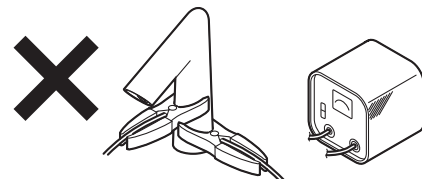
40℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～50℃
給湯をおすすめします。

定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

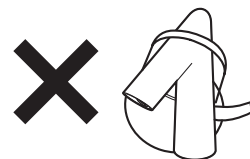
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

水漏れなどの事故の原因になります。

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P16

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

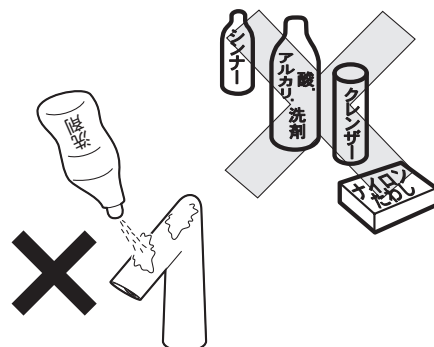
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

本体に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。

変形、破損および本体の固定がゆるむおそれがあります。

メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。

メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。

本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

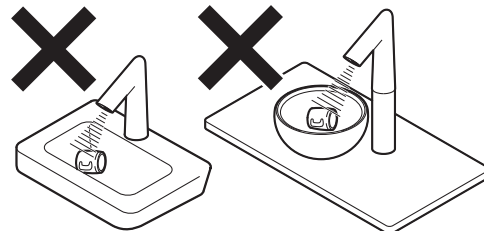
使用してはいけないもの
- ●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
  ※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- ●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ●ナイロンたわしなど

本体の割れや変色変質の原因となります。

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

本体の割れや変色変質の原因となります。

⚠注意

使用する時は、吐水口をふさがないでください。
誤作動の原因になります。

感知領域内に障害物が入らないようにしてください。
誤作動の原因になります。

センサー正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。
誤作動の原因になります。

直射日光の当たる場所で使用しないでください。
誤作動の原因になります。

一日に1回程度は吐水させるようにしてください。
長時間使用していないと、電磁弁が固着し吐水しなくなるおそれがあります。

ご使用について　吐水・止水

差し出された手を感知すると自動吐水し、遠ざけると自動止水します。

1 感　知		水栓内のセンサーが吐水口下の手を約0.5秒で感知します。
2 吐　水		手を感知したセンサーから、感知信号が発電ユニットへ送られ電磁弁が開き、水が出ます。
3 止　水		感知しなくなって約1秒で自動止水します。

自動 止水機能	吐水 約1分後 自動的に止水 ●約1分間連続感知すると自動的に止水します。

ご使用について　センサーについて

●本製品のセンサーには、赤外線を使用しています。
　赤外線を透過してしまうもの（透明のコップなど）は、感知することができません。
　感知物の形によっても、感知しにくくなる場合があります。
●洗面器（手洗器）内に水を溜めていると、感知する場合があります。
●光を反射しやすい洗面器（手洗器）に設置した場合、洗面器 （手洗器）の形状によっては、感知範囲外でも感知する場合があります。

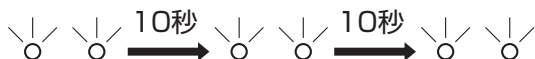
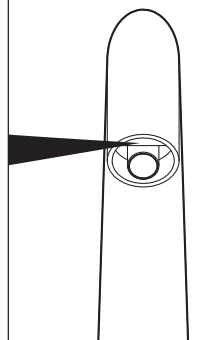
ご使用について　電池の取替え

電池が消耗すると、センサー感知窓の赤ランプが10秒毎に点滅します。

赤ランプ点滅

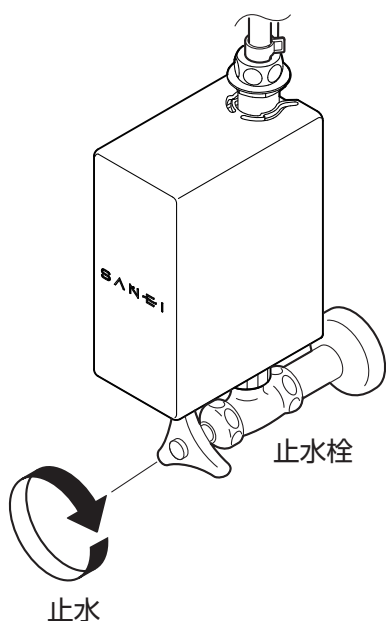
■ 第一段階

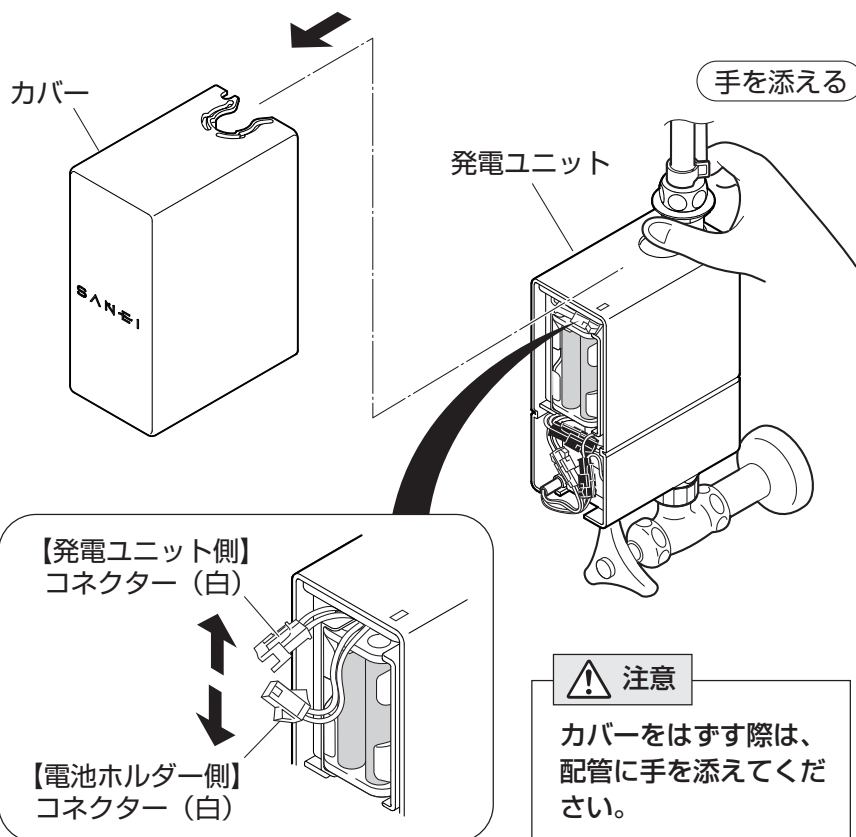
電池が消耗すると赤ランプが1回点滅します。
点滅開始後、約1000回あるいは10日間程度は使用可能ですが、早めに新しい電池と取替えてください。

■ 第二段階

赤ランプが2回点滅になると作動しなくなります。
新しい電池と取替えてください。

電池(市販)
【リチウム電池(単3形)】×4

⚠ 注意

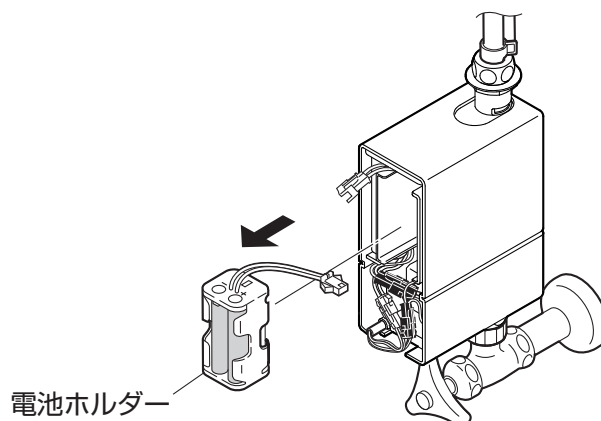
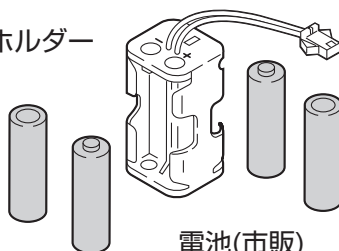
●センサー感知窓や発電ユニットとコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
●あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。

（1）止水栓のハンドルを右に回し、止水してください。

（2）発電ユニットのカバーをはずし、発電ユニット上部のコネクター（白）の接続をはずしてください。

⚠ 注意

カバーをはずす際は、配管に手を添えてください。

（3）電池ホルダーを引き出してください。

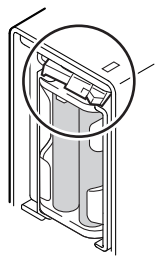
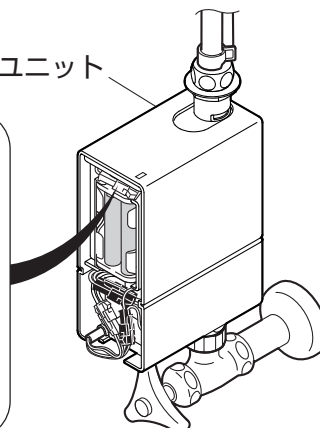
⚠ 注意

電池ホルダーを引き出す際、誤って発電ユニット内部の仕切りを引き出さないでください。

（4）市販のリチウム電池(単3形)4本を入れ、
電池ホルダーを戻してください。

お願い

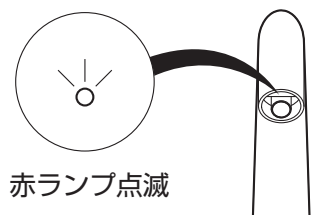
- **電池は必ず入れてください。**
  電池を入れないと、初期作動しません。
- **リチウム電池をご使用ください。**
- **電池の方向に注意してください。**
- **新しい電池と古い電池、または異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。**
- **使い切った電池は、早めに取出してください。**
- **充電式の電池は使用しないでください。**
- **電池に記載の注意事項をお守りください。**

（5）電池ホルダーのコネクター(白)を、発電ユニット上部のコネクター(白)に「カチッ」と音がするまで差し込み、収納してください。

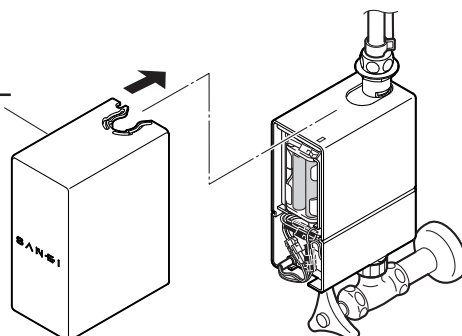
⚠ 注意

コネクターは必ず図の位置に収納してください。

（6）コネクター接続後、赤ランプが3回点滅した後、消灯します。

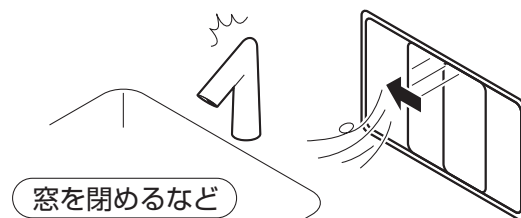
⚠ 注意

- **赤ランプ点滅中はセンサー感知窓正面に立ったり、障害物が入らないようにしてください。**
  誤作動の原因になります。
- **正常に動作しない場合は、コネクターが確実に接続されているか確認してください。**

（7）カバーを閉めてください。

⚠ 注意

カバーを閉める際、コードがかみ込まないように注意してください。

ご使用について 凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

●配管部などに保温材を巻いてください。
●屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

日頃のお手入れ 製品の掃除

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

●柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
●汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意

次のものは使用しないでください。
変色や傷みのおそれがあります。
●酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
●ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
●クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
●ナイロンたわしなど

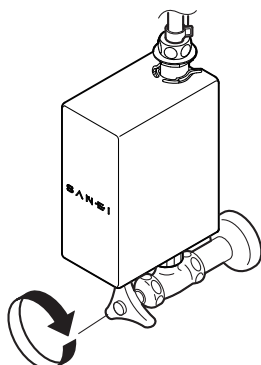
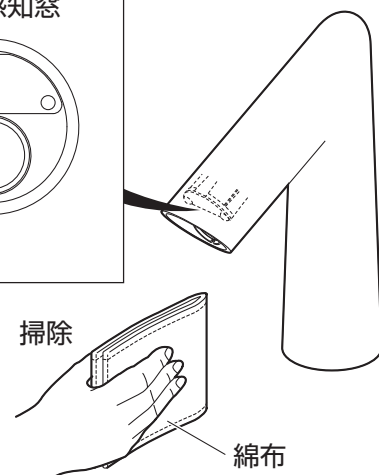
シンナー
酸、アルカリ・洗剤
クレンザー
ナイロンたわし

洗剤・薬品が本体に付着した場合は、
すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。

日頃のお手入れ センサー窓の掃除

1 止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。
2 水またはぬるま湯に浸した綿布で汚れを拭き取ります。

汚れがひどい場合は、綿布にうすめた食器用中性洗剤を含ませて拭き取った後水拭きしてください。

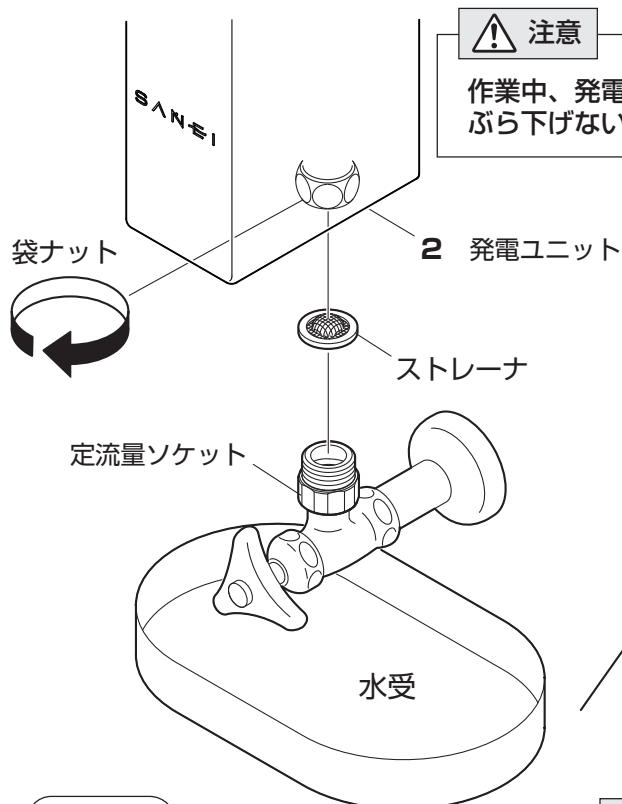
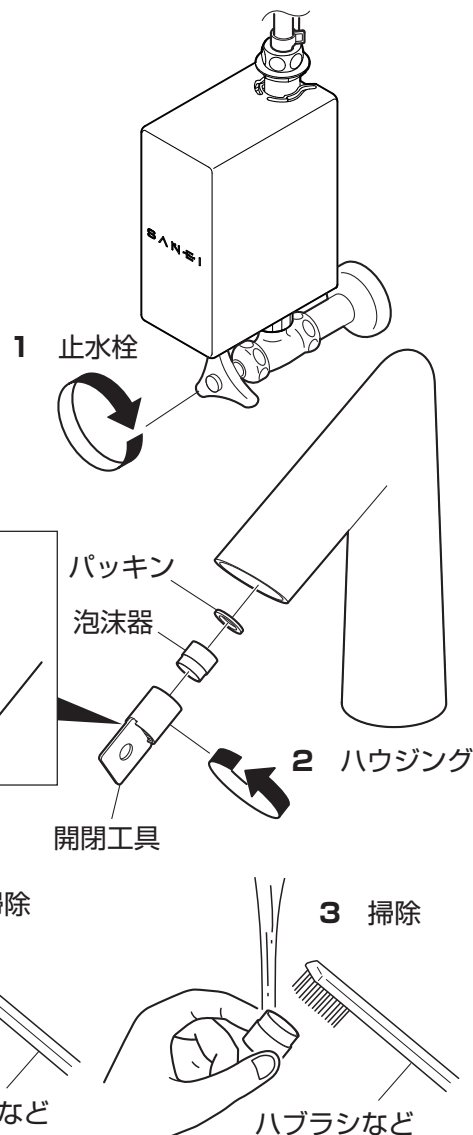
拭き取り時にセンサー面に傷をつけないでください。

日頃のお手入れ　ストレーナ・吐水口の掃除

ストレーナ・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。
（近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。）

1　止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。
2　■ストレーナを掃除する場合…水受を用意し、発電ユニットをはずします。
　■吐水口を掃除する場合…付属の開閉工具でハウジングをはずします。
3　ハブラシなどでストレーナ・泡沫器を掃除します。

⚠ 注意

- センサー感知窓や発電ユニットとコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。
- あらかじめ洗面器の内部をきれいに拭いてください。誤作動の原因になります。
- 部品が排水口に落ちないよう、ゴム栓あるいは布などでふさいでください。

⚠ 注意

作業中、発電ユニットをぶら下げないでください。

掃除後

部品を逆の手順で取付けます。
※ **発電ユニットをはずした場合は、P8 ④ の手順に従い、正しく取付けてください。**

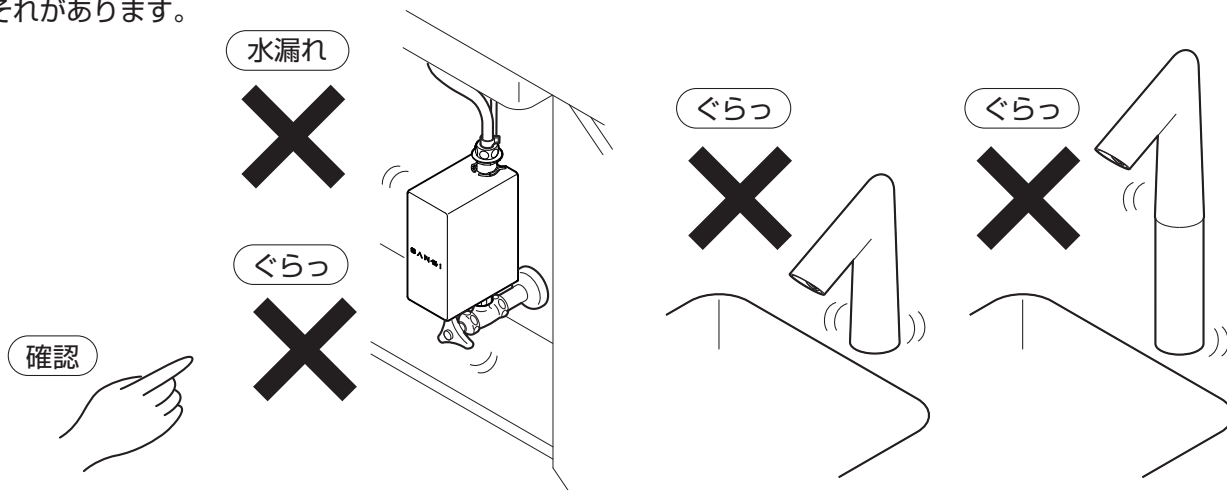
⚠ 注意

- **緩みがないように確実に締めてください。**
  確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。
- **パッキンが入っていることを確認してください。**
  パッキンが入っていないと水漏れの原因になります。
- **パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。**
  水漏れの原因になります。

再使用時

- 発電ユニット・ハウジングが確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・流量の確認を行ってください。参照：P10

定期的な点検　配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P22）を参照してください。

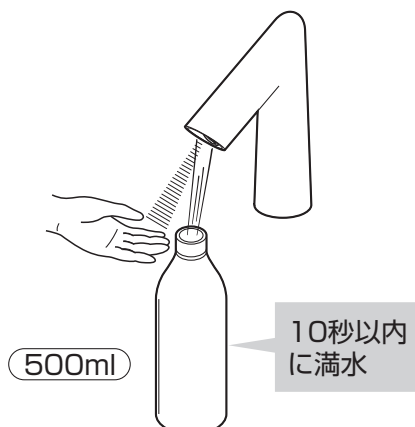
定期的な点検　流量の確認

定期的に、流量が適正であるか確認してください。（月1回を目安）
流量が少ないと、発電量が不足するおそれがあります。

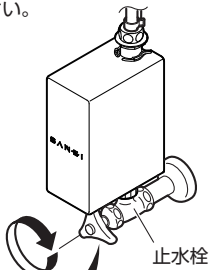
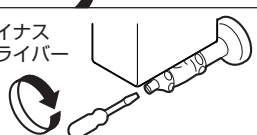
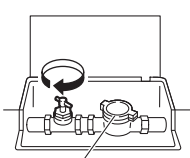
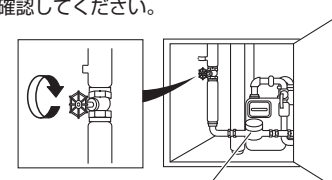
下記の手順で流量の確認を行ってください。

（1）センサー前に手をかざし、水を出してください。

（2）500mlのペットボトルに水を溜めて、10秒以内に満水になることを確認してください。

（3）10秒以上かかる場合は、ストレーナや吐水口のゴミづまりが考えられます。
　　ストレーナ・吐水口の掃除を行ってください。　参照：P17

※ ストレーナ・吐水口の掃除をしても直らない場合は、定流量ソケットをはずし、止水栓で流量を調節してください。

参照：P10 ⑩

こんなときは　故障？　その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置	
作動しない。	電池が入っていますか。	電池を入れる。	参照：P9 ❻
	電池の＋－が違って入っていませんか。	電池を正確に入れる。	参照：P9 ❻
	電池切れではないですか。	新しい電池を入れる。	参照：P14～15
	電池のコネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。	参照：P9 ❻
センサーが反応しない。（正常 電池をはめ込んだ直後、赤ランプが3回点滅します。）	10秒間隔で2回点滅していませんか。	新しい電池を入れる。	参照：P14～15
	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。	参照：P16
	コネクターの接続が不十分ではありませんか。	コネクターを一度はずし、再度接続する。	参照：P9 ❻
センサーは反応するが湯水が出ない。	水圧が使用範囲より高くありませんか。	配管などに減圧弁を設置して水圧を下げる。	参照：P4
湯水の出が悪い。	ストレーナ・泡沫器にゴミが詰まっていませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。	参照：P17
湯水が止まらない。	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。	参照：P16
センサーが勝手に反応する。	センサーの近くに反射物はありませんか。	センサーの近くの反射物などを取り除く。	参照：P4
	直射日光が入っていませんか。	直射日光が入らないようにする。	参照：P4
湯水が勝手に出る。	インバータや赤外線を用いた他の機器を近くで使用していませんか。	誤作動の原因となる機器を取り除く。	参照：P4
通常より手を近づけないと反応しなくなる。	センサー感知窓が汚れていませんか。	センサー感知窓を掃除する。	参照：P16
バックアップ電池の寿命が短い。(発電量が少ない)	使用回数(1日に流す水量)が少なくありませんか。	使用回数を増やす。	参照：P21
	吐水量が少なくありませんか。	止水栓を開き、吐水量を増やす。	参照：P10 ❿
		定流量ソケットをはずす。	参照：P10 ❿

以上の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。

止水栓

マイナスドライバー

元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。
※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
※一部の地域では左まわしの場合があります。
※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式

止水栓キー
SAN-EI品番：
PR30A（止水栓キー）

●ハンドル式

水道メーター（量水器）

■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：
主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

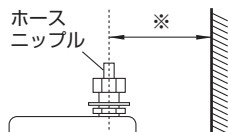
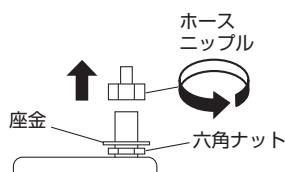
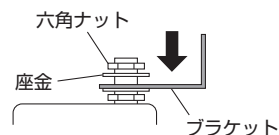
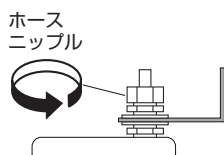
水道メーター（量水器）

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

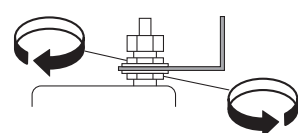
ブラケットの取付方法

発電ユニットがガタつく場合は、ブラケットを取付けてください。

SAN-EI品番：
R641（分岐止水栓ブラケット）※42～65mm
R641T-S（止水栓ブラケット） ※35～59mm
R641T-L（止水栓ブラケット） ※59～83mm

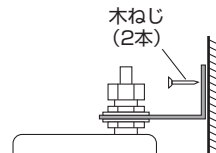
上記(※)に記載の数値は、壁からホースニップル中心までの距離です。
寸法に合ったブラケットをお求めください。

① 発電ユニット上部のホースニップルをはずします。

② ブラケットを取付け、その上に同梱の座金・六角ナットを取付けます。

③ ホースニップルを取付けます。

⚠ 注意

ホースニップルは確実に締めてください。
ホースニップルが確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

④ ブラケットを挟み込むように、上下の六角ナットを締付けます。

⑤ ブラケットのねじ穴（2箇所）を同梱の木ねじ（2本）で固定します。

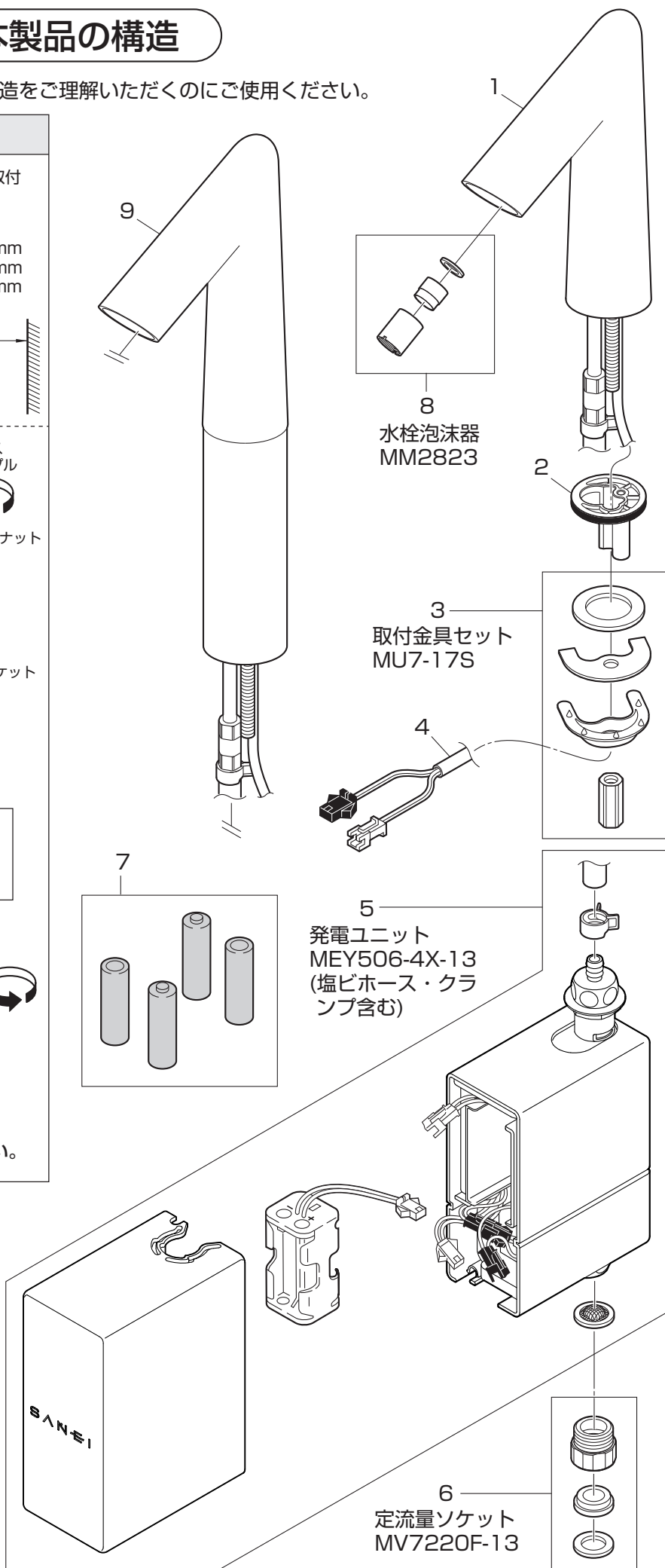
木ねじ
（2本）

※ **取付完了後、P8 ❺ に進んでください。**

1
9
8
水栓泡沫器
MM2823
2
3
取付金具セット
MU7-17S
4
7
5
発電ユニット
MEY506-4X-13
(塩ビホース・クランプ含む)
SANEI
6
定流量ソケット
MV7220F-13

EY506HE

1. 水栓本体
2. 取付ベース
3. 取付金具セット
4. センサーコード
5. 発電ユニット
6. 定流量ソケット
7. バックアップ電池
8. 水栓泡沫器

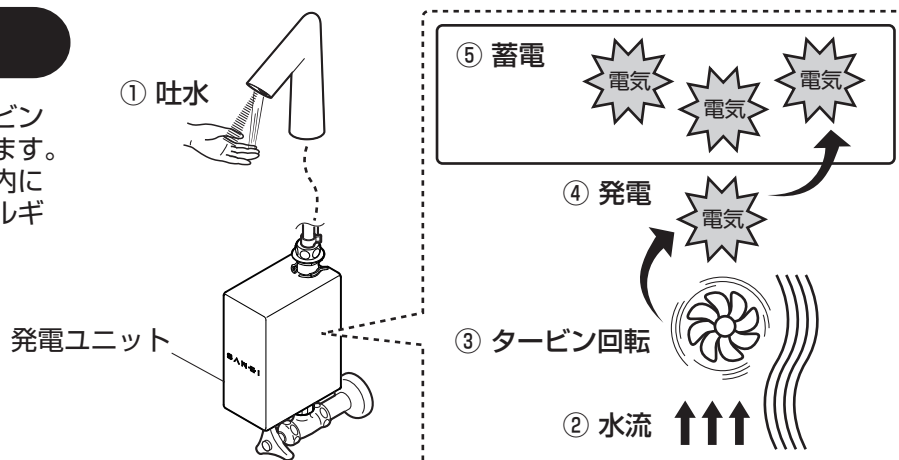
EY506HE-2T

9. 水栓本体

仕　様

製品番号	EY506HE・EY506HE-2T
消費電力	待機時：0.3mW
	動作時：最大値3W
給水圧力	最低水圧：0.05MPa(流動圧)
	最高水圧：0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	水道水
使用水温	0℃～40℃(凍結不可)

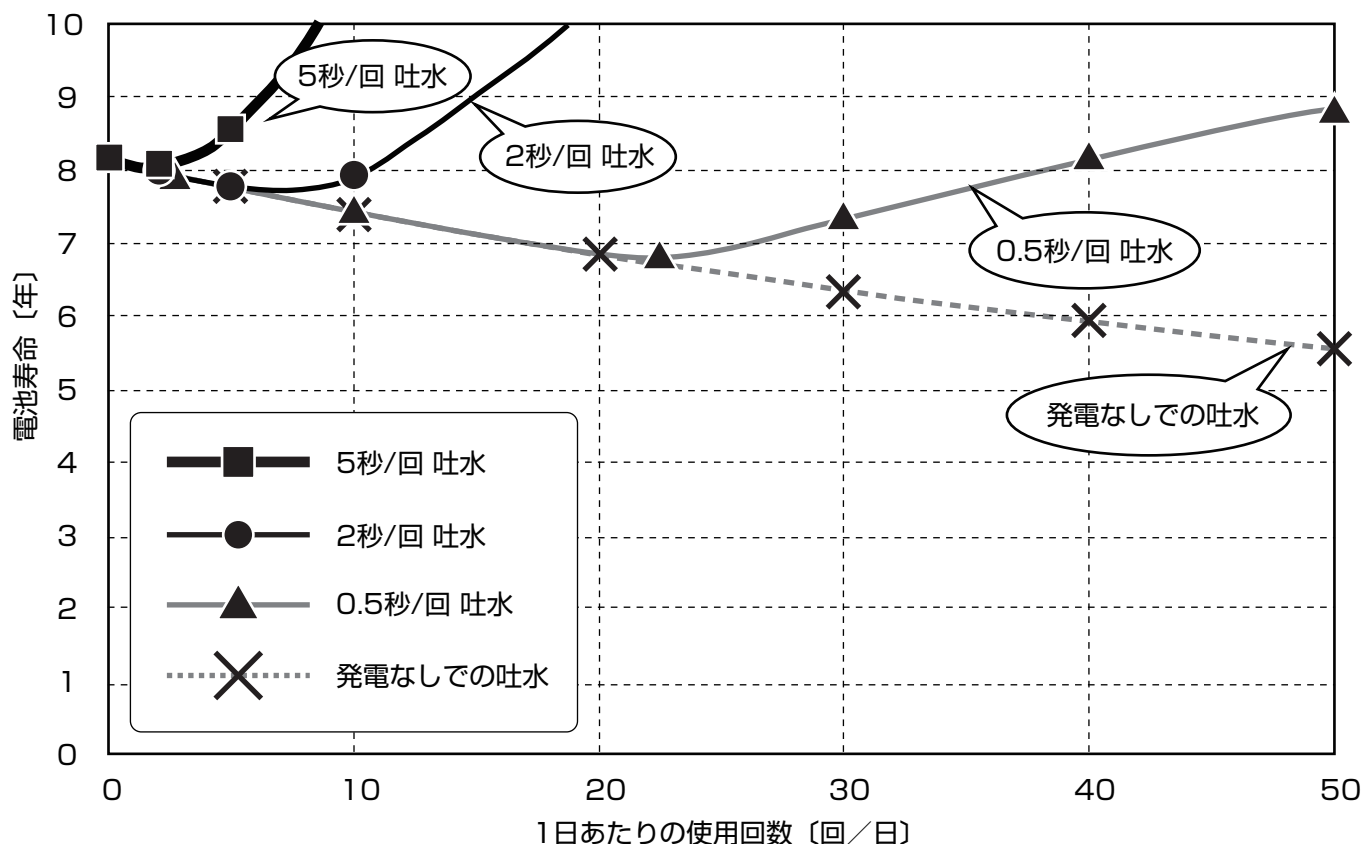
使用環境温度	1℃～40℃
適正流量	3～4L/分(4L/分定流量弁内蔵)
感知距離	約50～150mmの間で自動調節 (常時自動で感知距離を設定)
センサーコード長さ	EY506HE：800mm EY506HE-2T：650mm
給水接続	G1/2

発電のしくみ

吐水すると、発電ユニット内のタービンが回転し、電気エネルギーが発生します。発生した電気エネルギーはユニット内に蓄電され、今後の作動のためのエネルギーとなります。

リチウム電池の寿命

リチウム電池の寿命は、使用条件により異なります。これは、使用回数・吐水時間により発電量が異なるためです。

初期作動の場合や蓄電量が不足している場合、長時間使用していない場合は、電池で作動します。
電池で作動する割合が大きければ大きいほど、電池の寿命は短くなります。

EY506HE ・ EY506HE-2T使用回数とバックアップ電池寿命の関係（流量3.5L/min）

※ グラフのデータは試験値(雰囲気温度20℃)であり、保証値ではありません。

保証とアフターサービス

〔保証について〕

●この製品は保証書の内容にしたがって保証されています。
　お買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名が記入してあることを確認してください。
●保証期間中は保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。保証期間は保証書を確認してください。
●保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。
摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としております。（交換時期は、使用環境などにより異なります。）
点検、部品の交換は工事店や水栓メーカー、専門業者にご依頼ください。

定期点検・部品交換

日頃のお手入れについてはP16～17、定期的な点検についてはP18をご確認ください。

①消耗部品とは使われて、なくなっていく部品のことです。
　消耗部品の例　　　リチウム電池など
②摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。
　摩耗劣化部品の例　　　電装部品（センサー）・ストレーナ・パッキン・オーリングなど

止水部やパッキンが劣化すると水漏れの原因となります。この場合、該当部品の交換が必要です。
部品の詳細についてはP20を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの）の供給期間は製造中止後10年です。

品番を確認するには水栓の右側下部に貼付のシールをご確認ください。

（例）　品番
EY506HE
20121108 G
製造番号

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

●修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店（工事店）又は当社
●連絡していただきたい内容：■住所、氏名、電話番号
　■品番、品名
　■お買上げ（お取付け）年月日
　■故障内容、異常の状況（水漏れ箇所の説明など）、部品交換の依頼
　■訪問希望日
●当社の修理および部品交換料金は「技術料」＋「部品代」＋「出張料」で構成されています。
　「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
　「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。
　　（無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。）
　「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

●まずは、お求めの販売店（工事店）へご相談ください。
　ご不明な場合は最寄りの当社営業所へお問合せください。

SANEI
株式会社 三栄水栓製作所

本社　〒537-0023　大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室　大阪☎(06)6976-8661　東京☎(03)3683-7496
フリーダイヤル 0120-06-9721

東京支店 …… ☎ (03)3683-7471
名古屋支店 …… ☎ (052)800-8688
大阪支店 …… ☎ (06)6972-6981
札幌営業所 …… ☎ (011)782-5353
盛岡営業所 …… ☎ (019)605-7301
仙台営業所 …… ☎ (022)258-6251
郡山営業所 …… ☎ (024)931-1377
新潟営業所 …… ☎ (025)281-1291
東京西営業所 …… ☎ (042)582-7141
さいたま営業所 …… ☎ (048)625-4741
横浜営業所 …… ☎ (045)929-0331
静岡営業所 …… ☎ (054)236-1115
金沢営業所 …… ☎ (076)268-7751
京都営業所 …… ☎ (075)605-5761
神戸営業所 …… ☎ (078)843-9231
広島営業所 …… ☎ (082)922-3631
松山営業所 …… ☎ (089)905-7866
福岡営業所 …… ☎ (092)674-1230
熊本営業所 …… ☎ (096)385-7161
沖縄営業所 …… ☎ (098)869-0890

ホームページ http://www.san-ei-web.co.jp

SANEI

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店（工事店）にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。
お買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名など記入もれがありますと無効となります。
必ずご確認いただき、記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品　番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。	
保証期間	対象部品	期間（お買上げ日/お取付け日から）
	本　体	2ヵ年
お買上げ日（お取付け日）	年　月　日	
お客様	お名前　様 ご住所 電話　（　）	

販売店 工事店	店名　住所 電話　（　）

＜無料修理規定＞

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店（工事店）に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（１）使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
（２）温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
（３）お買上げ（お取付け）後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
（４）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
（５）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）及び外部ノイズなどに起因する不具合
（６）消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
（７）施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
（８）建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
（９）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
（10）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
（11）砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
（12）寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
（13）本書の提示がない場合
（14）本書にお買上げ（お取付け）年月日、お客様名、販売店（工事店）名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店（工事店）、または当社にお問合せください。
★補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社お客様相談室へお問合せください。

修理メモ

SANEI
株式会社 三栄水栓製作所
本社　〒537-0023　大阪市東成区玉津1丁目12番29号
お客様相談室　大阪☎(06)6976-8661　東京☎(03)3683-7496
フリーダイヤル 0120-06-9721